授業科目		保育内容の理解と方法Ⅱ					単位		1	
履	修	選択	関連資格	保育士	保育士			ナンバリ	ング	WE21627J
開講年	次	1 年	開講時期	後期 該当DP DP5-1 DP5-2			DP5-2			
担当教員 金谷		金谷めぐみ、	を谷 めぐみ、吉富 淳子							
授業概	要	保育士として求めら						め、弾き歌り	ハや伴奏法	について教
_	1. 楽譜を正しく読むことができる。 2. 正しい呼吸法、発声法を活かし、表現力豊かに歌うことができる。 3. 正しい演奏法に基づいてピアノを演奏することができる(バイエル 60 番程度)。 4. 子どもの歌の弾き歌いができる程度の演奏技能を身につけている。 5. 保育の各場面に適した音楽を選び、演奏できる。									
				達成原	き評価 こうしゅう					
評価と評価割合/ 評価方法		試験	小テスト	レポート	発表(ロ頭、プレゼンテーション)	レポート 外の提 出物	その他	合計	備考	
総合評	価割合		70	0	0	0	0	30	100	
知識・玛	里解(DP1-1)									
知識・玛	里解(DP1-2)									
知識•玛	里解(DP1-3)									
知識・玛	里解(DP1-4)									
思考•芈	判断 (DP2-1)									
思考•芈	判断 (DP2-2)									
関心・意	意欲 (DP3-1)									
関心・意	意欲 (DP3-2)									
態度	(DP4	-1)								
態度	(DP4	-2)								
態度	(DP4	-3)								
技能·表現 (DP5-1)		20					10	30		
技能·表現 (DP5-2)		50					20	70		
技能•君	表現(DP5-3)									
				具体的な遺	権成の目安					
		理想的レベル	,				標準的	なレベル		

1. バイエル 80 番以上を演奏できるピアノ演奏技能を身につけて 1. 楽譜を正しく読むことができる。 いる。

- 2. 子どもの歌の弾き歌いの際、曲に合った表現で演奏できる。
- 3. 弾き歌いの際、周りの状況や子どもに配慮した演奏ができる。

- 2. 正しい呼吸法、発声法を活かし、表現力豊かに歌うことがで きる。
- 3. 正しい演奏法に基づいてピアノを演奏することができる(バイ エル 60 番程度)。
- 4. 子どもの歌の弾き歌いができる程度の演奏技能を身につけ ている。
- 5. 保育の各場面に適した音楽を選び、演奏できる。

授業計画

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習•復習)	予習・復習時間(分)	
1	声楽の基礎①:合唱 器楽演奏技術①:ピアノ演奏の基礎	実技指導	ピアノ練習	60	
2	声楽の基礎②: 合唱 器楽演奏技術②:ピアノ演奏の基礎	実技指導	ピアノ練習	60	
3	声楽の基礎③:合唱 器楽演奏技術③:ピアノ演奏の基礎	実技指導	ピアノ練習	60	
1	声楽の基礎④:合唱 器楽演奏技術④:ピアノ演奏の基礎	実技指導	ピアノ練習	60	
5	声楽の基礎⑤: 合唱 器楽演奏技術⑤: ピアノ演奏の基礎	実技指導	ピアノ練習	60	
6	声楽の基礎⑥: 合唱 器楽演奏技術⑥:ピアノ演奏の基礎	実技指導	ピアノ練習	60	
7	声楽の基礎⑦: 合唱 器楽演奏技術⑦:ピアノ演奏の基礎	実技指導	ピアノ練習	60	
8	声楽の基礎®:合唱 器楽演奏技術®:ピアノ演奏の基礎	実技指導	ピアノ練習	60	
9	器楽演奏技術⑨:ピアノ演奏の基礎 幼児唱歌の弾き歌い、伴奏法	実技指導	ピアノ練習	60	
10	器楽演奏技術⑪:ピアノ演奏の基礎 幼児唱歌の弾き歌い、伴奏法	実技指導	ピアノ練習	60	
11	器楽演奏技術①:ピアノ演奏の基礎 幼児唱歌の弾き歌い、伴奏法	実技指導	ピアノ練習	60	
12	器楽演奏技術①:ピアノ演奏の基礎 幼児唱歌の弾き歌い、伴奏法	実技指導	ピアノ練習	60	
13	器楽演奏技術③:ピアノ演奏の基礎 幼児唱歌の弾き歌い、伴奏法	実技指導	ピアノ練習	60	
14	器楽演奏技術(A):ピアノ演奏の基礎 幼児唱歌の弾き歌い、伴奏法	実技指導	ピアノ練習	60	
15	器楽演奏技術(⑤:ピアノ演奏の基礎 幼児唱歌の弾き歌い、伴奏法	実技指導	ピアノ練習	60	
16					
17					
18					
19					
20 21					
21 22					
23					

24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
理解に必要な予備知識や技能		保育の表現技術 1 で学んだ「楽典の基礎」を復習して確実に理解しておきましょう。保育の表現技術 1 で弾けるようになった曲を、練習しておきましょう。						
テキスト		『バイエルピアノ教則本』全音楽譜出版社 『コールユーブンゲン』音楽之友社 『新・幼児の音楽教育』朝日出版社 「バイエルの謎」安田 寛 著 音楽之友社						
参考図書・教材/ データベース・雑誌 等の紹介		「ブルクミュラー25 の不思議」飯田 有抄・前島美保 著 音楽之友社						
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ		ピアノが弾けるようになるためには、とにかく繰り返し練習することです。授業以外の時間にも、できるだけ時間を作って、ピアノを練習しましょう。						
達成度評価に関するコメント		試験(ピアノ曲、弾き歌いによる実技試験)、その他(より高いレベルに到達するために意欲的に取り組んだかどうか)により評価します。 詳細は授業で説明します。						